

第 一 部

<日本名歌より>

この道	北原白秋 / 詩	山田耕筰 / 曲
待ちぼうけ	北原白秋 / 詩	山田耕筰 / 曲
中国地方の子守唄	中国地方民謡	山田耕筰 / 編曲
たあんき ぼーんき	山村暮鳥 / 詩	中田喜直 / 曲
城ヶ島の雨	北原白秋 / 詩	梁田貞 / 曲
かんぴょう	北原白秋 / 詩	福井文彦 / 曲

<山田耕筰「童謡百曲集」より>

大正15年末から半年の間に100曲を書き上げているが、山田の童謡は、芸術的童謡とも言われるもので、大人が歌い、子供の成長の道しるべともなる力をもった曲として書かれている。これらの童謡は戦後、中田喜直や團伊玖磨、大中恩などの童謡作品にまで影響を与えている。

電話	川路柳虹 / 詩
青い小鳥	川路柳虹 / 詩
酸模（すかんぼ）の咲く頃	北原白秋 / 詩
青蛙	三木露風 / 詩
<small>からす</small> 烏の番 雀の番	野口雨情 / 詩
砂山	北原白秋 / 詩
かえろかえろと	北原白秋 / 詩

<語りぶし>

ソメコとオニ 齋藤隆介 / 作 松本民之助 / 曲

作曲の松本民之助は、父上が義太夫語りだったので、その影響を受け、新しい形での語りもの、「語りぶし」という形を作った。日本の様々な民話に音符をつけ伝統音楽の技法も織り込んだ歌曲を何百曲も作曲している。その中の初期の作品である。